

ゆうすい、議会だより

平成29年8月17日発行 第51号

『湧水町小学校水泳記録会』

新記録を目指し、
水しぶきをあげて力泳する児童

5月臨時会 6月定例会

主な内容

29年度補正予算	・・・	P 2～
議決一覧	・・・	P 4～
一般質問	・・・	P 6～
陳情書	・・・	P 15
地域だより	・・・	P 16

平成29年 第2回定例会

一般会計補正予算(第3号) 1億497万9千円可決



総額67億5856万9千円に

第2回定例会は6月7日に開会され、6月30日までの24日間の会期で開催されました。今定例会では、報告1件、農業委員会委員の任命に伴う同意15件、町立竹中池公園プールの設置に関する条例の制定、補正予算4件などの議案と追加で財産の取得及び湧水町長等の給与の特例に関する条例の制定についての議案が提案され、それぞれ原案可決しております。また、陳情1件が採択され、それに伴う意見書を可決しております。一般質問では、議員9名が18項目について質問しました。

農地中間管理事業 補助金

875万円

農用地の賃貸借を通じて農地の集積と集約化を支援するための補助金



ふるさと応援基金 積立金

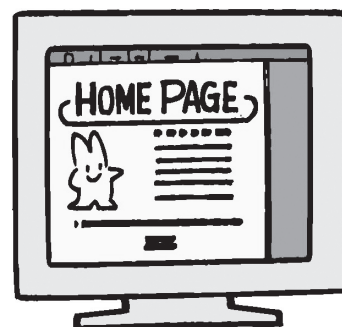
247万円

ふるさと納税制度による寄付金の増加に伴う、ふるさと応援基金への積立金

町に寄付された寄付金等は、湧水町ふるさと応援寄付条例に基づき、この基金に積み立てられ、未来を担う子供たちの健やかな育成に関する事業や高齢者が安心して暮らせるまちづくりに関する事業など、規則で定める5つのふるさとづくり事業の財源に充当されます。

ホームページ リニューアル委託料

平成17年3月に開設された現在のホームページを、本町の情報発信のため、分かり易く、満足できるホームページにリニューアルするための委託料



アートな旅推進事業 補助金

360万円

町内等の観光地のPRと造形作品の展示イベント等を組み合わせたアートな旅推進事業の補助金



湧水イベント補助金

351万円



11月に開催される湧水町高原フェスタへの運営補助金

全国和牛能力共進会 関連費

238万円

9月に宮城県で開催される全国和牛能力共進会に係る出品報償費等



コミュニティ助成 事業補助金

290万円

長谷地区、西下場地区への空調機及びテントを整備するための補助金



地区公民館施設 整備工事費

717万円



東中下場地区青少年自立自興館倉庫整備及び幸田コミュニティセンター体育館の外部鉄骨改修工事費

町道等整備工事費

7132万円

橋梁補修を含む町道等の維持管理に伴う工事費



町長・副町長・教育長の給与の減額条例を可決

湧水町長等の給与の特例に関する条例を本定例会に追加提案され、全会一致で可決しました。内容については、昨今の経済情勢や財政状況に対応するため、町長の給与を20%、副町長の給与を10%、教育長の給与を5%、それぞれの任期中、減額するものです。この結果、町長の任期中（制定以降3年9か月間）における、町長、副町長、教育長の給与は、総額で1400万円程度減額される試算となります。減額分の用途については、今後の財政状況を踏まえた中で、将来にわたる持続可能なまちづくりのため、若者の定住促進及び子育て世代の支援に活用されます。

こんなことが決まりました

議 案		提 案 理 由 等		結 果
第3回 臨時会	同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会の委員の任期満了に伴い、引き続き、湧水町幸田 柿川邦宏氏を地方税法の規定により、議会の同意を求め選任しようとするもの。	同意
	同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会の委員の任期満了に伴い、引き続き、湧水町幸田 松本貢氏を地方税法の規定により、議会の同意を求め選任しようとするもの。	同意
	同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会の委員の任期満了に伴い、引き続き、湧水町川添 福島勝男氏を地方税法の規定により、議会の同意を求め選任しようとするもの。	同意
第4回 臨時会	同意第5号	教育長の任命について	教育委員会の委員の任期満了に伴い、引き続き、湧水町川西 吉留孝信氏を地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求め任命しようとするもの。	同意
	同意第6号	教育委員会委員の任命について	教育委員会の委員の任期満了に伴い、引き続き、湧水町木場 中間庭範男氏を地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求め任命しようとするもの。	同意
	同意第7号	監査委員の選任について	監査委員の任期満了に伴い、新たに、湧水町北方 田中修一氏を地方自治法の規定により、議会の同意を求め選任しようとするもの。	同意
	議案第19号	交通事故に係る和解の成立及び損害賠償の額を定めることについて	公用車による交通事故に関し、和解を成立させ、損害を賠償するため、議会の議決を求めるもの。	原案可決
	議案第20号	平成29年度湧水町一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ22,749千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,653,590千円とするもの。	原案可決
	議案第21号	平成29年度湧水町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ182千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ143,754千円とするもの。	原案可決
第2回 定例会	報告第1号	平成28年度湧水町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	平成28年度湧水町一般会計予算を平成29年度に繰り越したので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、報告するもの。 (繰越した事業…11事業 繰越額3億7224万7千円)	—
	同意第8号 ～ 同意第22号	農業委員会委員の任命について	農業委員会の委員の任期満了に伴い、下の者を農業委員会等に関する法律の規定により、議会の同意を求め、任命しようとするもの。 久美田親見氏(上場地区)、福島昌信氏(北方地区)、重村耕一郎氏(幸田地区)、桑原佐彦氏(川添地区)、石神慶正氏(停車場地区)、綾織まち子氏(長谷地区)、梶重明氏(長谷地区)、神掛ちず子氏(老竹地区)、神田好和氏(老竹地区)、前田格男氏(鶴丸地区)、永野マリ子氏(川添地区)、田島孝二氏(停車場地区)、中尾隆氏(上川西地区)、米満幸美氏(中津川地区)、二渡彰吾氏(轟地区)以上15名	同意
	議案第22号	湧水町竹中池公園プールの設置及び管理に関する条例の制定について	竹中池公園プールの来場者の増加と施設の効率的な運用を図りたいため、本条例を制定しようとするもの。	原案可決
	議案第23号	湧水町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び湧水町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院規則の一部が改正され、養子縁組に関する条項、育児支援等の条項が改正されたことに伴い、本町職員においても、これに準じて所要の改正をしようとするもの。	原案可決
	議案第24号	湧水町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、幼稚園保育料等に関する条項を改正したいため、所要の改正をしようとするもの。	原案可決

議 案		提 案 理 由 等		結 果
第2回 定例会	議案第25号	湧水町過疎地域産業開発促進条例の一部を改正する条例の制定について	過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をしようとするもの。	原案可決
	議案第26号	平成29年度湧水町一般会計補正予算(第2号)	平成29年度一般会計予算の繰越明許費(1事業)の計上	原案可決
	議案第27号	平成29年度湧水町一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ104,979千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,758,569千円とするもの。P2,3参照	原案可決
	議案第28号	平成29年度湧水町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,096千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,757,734千円とするもの。	原案可決
	議案第29号	平成29年度湧水町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ401千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,408,375千円とするもの。	原案可決
	議案第30号	財産の取得について	公用車導入事業により、公用車4tローダンプ1台を取得したため、地方自治法及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。	原案可決
	議案第31号	湧水町長等の給与の特例に関する条例の制定について	昨今の厳しい経済情勢や財政状況に対応するため、町長等の給与の特例に関し、本条例を制定しようとするもの。 P3参照	原案可決
	陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	P15参照	採択
	発議第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書について	P15参照	原案可決

特別委員会を設置

湧水町議会委員会条例第5条の規定により以下の特別委員会を設置しました。

◎湧水町災害対策調査特別委員会

本町の災害対策に係わる調査・研究を行うために、11名（議長を除く）による委員会を設置

委員長 亀澤 中 副委員長 小川 忍

◎湧水町議会広報編集特別委員会

議会広報の諸課題についての調査・研究するため、7名の委員構成による委員会を設置

委員長 植林 伸洋 副委員長 成政 晃

委員 宗 照夫 委員 小川 忍 委員 山元 明

委員 中村 和博 委員 飯屋 良二

◎湧水町地方創生・議会活性化等調査特別委員会

地方創生総合戦略、議会活性化、吉松駅周辺まちづくり等に係わる調査・研究を行うために、11名（議長を除く）による委員会を設置

委員長 吉永 義和 副委員長 中村 和博

を 問 う !

教育行政について

1 園体制の移行を検討していきたい

吉永 義和 議員



問

園児数の少ない中での教育効果と今後の管理運営の在り方について伺う。

町長

園児は、集団生活の中でいろいろな遊びを通して成長していきます。本年度は、両園ともに少ない園児数になったため、合同で行う交流活動を取り入れ、集団活動の場を確保していると聞いています。今後の管理運営の在り方については、町立幼稚園を1園は、存続していく方向で検討を進める考えであります。

問

今後の幼稚園運営に関する協議についての教育委員会での経過を伺う。

教育長

園児が10名を下回った場合、合休園等で検討していくという、過去の経緯を踏まえ検討会を開催し、29年度は2園体制で臨みます。今後は町長部局との協議を経ながら平成30年度以降は1園体制の方角で検討していく考えであります。

問

財政的な効果と立派な教育効果出るように幼稚園を統合する考えはないか伺う。

町長

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであります。良い環境の下で、教育効果がでるよう、1園体制への移行を検討していきたいと思えます。

教育長

町長の意向に沿って、両幼稚園や関係者と連携しながら、検討を進めていきたいと思えます。

園児数と一人あたりに換算した幼稚園費の推移

年度	25	26	27	28	29
栗野幼稚園 (人)	16	15	15	12	5
吉松幼稚園 (人)	17	19	19	16	13
計 (人)	33	34	34	28	18
幼稚園費 (千円)	51,342	44,726	44,983	40,921	34,691
園児一人あたりに換算した幼稚園費 (千円)	1,555	1,315	1,323	1,461	1,927

※幼稚園費：25～27年度は実績、28年度は実績見込み、29年度は予算額

定住促進対策について

プロジェクトチームの結成を検討している

問

合併から12年が経過し、約二千五百人の人口減となり、こ

町長

現在、庁舎内において、課を越えた福祉三課が連携し、子育て支援、高齢者福祉に取り組んでいます。これまで状況に応じたプロジェクトチームを結成し、課題に対応しているところであります。今後、交流人口の増加、地域活性化、移住・定住につながる対策として町長を本部長、副町長、教育長を副本部長、各課長を組織の委員として即決断できる活性化プロジェクトチームの結成を検討しています。

ここが知りたい!!
ここが聞きたい!!

町 政



高齢者が自動車運転免許証を返納した後の対策について 自主返納しやすい環境づくりが必要

小川 忍 議員

問

高齢者の自動車運転による事故が社会問題となっている、本町でも今後、重要な問題と考えられるが伺う。

町長

原因は動体視力の衰えや身体機能の低下が要因と思われる。交通安全意識を高め自主返納しやすい環境づくりが必要であると考えます。

問

返納後は日常生活に支障をきたす為、無理でも運転しなければならぬ。しかし事故も考えるがどうか伺う。

町長

自主返納カードを提示することで、ふるさとバスを無料で優遇しております。

問

現行では、病院の診察時間などに不便であり、無料券が活かされていないと思うがどうか伺う。

町長

時間の変更も検討課題と考えます。

問

返納後も、安心して日常生活を過ごせるような対処方法を考えているか伺う。

町長

商業集積地を通るコースで利便性を図っております。

問

山間地域の返納者は、タクシーで病院や駅まで通い、高額な負担となっている。タクシー券などの優遇措置は考えられないか伺う。

町長

他市では、市のバスに使えるカードやタクシーにも使える商品券を発行しているようです。

本町も独自の施策を検討したいと考えます。

定住促進対策について

帰郷後の奨学金返還優遇制度の導入を検討

問

合併後年間約210人程度の人口減少が続く、町の存続が危惧されるがどうか伺う。

町長

町総合戦略に基づき人口減少対策に努めます。

問

町内企業でも、若者の残留が少なく技術者や後継者不足で廃業も余儀なくされるがどうか伺う。

町長

都会への憧れがあると思われれます。帰郷して就農や就職した際、奨学金返還優遇制度の導入を検討します。

問

町内にも、医療福祉、土木建築、農林畜産業など優秀な事業所があるが、地元の事業者育成も重要と思うがどうか伺う。

町長

地元の事業者育成も重要課題と考えます。

問

学生と地元事業者を優遇して、地元事業所の存続と若者の職の安定及び定住増になるがどうか伺う。

町長

若者が町内に残らない原因を究明して、各事業に対応して行きたいと思います。

行政改革について

職員数を維持し、組織再編を進める



境田 公明 議員

問

組織再編や職員数の適正規模等について、これまでの議会で質問してきたが、これからの行政組織の仕組みをどのように考えているのか伺う。

町長

新たな行政課題や行政需要に、迅速かつ的確に対応し住民サービスの低下を招かぬように効率的かつスリムな組織を年次的に再編したいと思っています。

問

町長の任期中に組織再編をするのか決意を伺う。

町長

所信表明でも述べていますが、課長などの退職に合わせて年次的に行いたいと思います。最終目標は15課と考えております。

吉松駅周辺まちづくり事業について

問

この事業に適した事業があるのか。また、土地開発公社や民間資金等の活用をどのように考えているのか伺う。

町長

各省庁のインフラ事業のための制度を活用しながら、個々の事業を推進する必要があります。土地開発公社、民間資金等の活用についても検討を進めてまいります。

問

土地開発公社を利用して、できることをする考えはないのか伺う。

町長

補助事業等は部内で探しております。土地開発公社で一つの

エリアを担えばよいとは考えておりますが、理事会の中で検討をしています。

児童生徒の教育環境について

問

就学援助対策の財源を施政方針では町三役の給与カットの一部で賄いたいとのことですが恒久的な財源は別に考えられないのか伺う。

町長

現時点では恒久的な財源がない状況です。ただし財源の観点から重要しつつも必要な施策と考え、町三役の給与カットやこれまでの施策全般を検証しながら継続して実施できる施策として取り組むたいと考えています。

問

吉松中学校整備計画についてどのようなように考えているのか伺う。

町長

検討委員会を平成28年度に2回実施しております。今後慎重に検討してまいります。

問

児童生徒の学力向上のための施策としてどのようなものを考えているのか伺う。

教育長

各学校で授業づくりの研究の実施。教員資質向上への取り組みや家庭と連携した取り組みをしています。



空き家バンクについて やるべきだと思っています

亀澤 中 議員

問

空き家バンクの創設に、向けて町内の不動産業者との協議は進んでいるのか伺う。

町長

所有者が空き家を登録し、情報提供

する空き家情報登録制度「空き家バンク」については、今後、地域おこし協力隊員を活用し、空き家情報を収集・整備したうえで、町が行うものと、町内の不動産業者が行うものを整理し協議して参りたいと思います。

問

一刻も早く空き家バンクを創設し、定住促進対策を進めてほしいと思うが、考えを伺う。

町長

他自治体の成功事例にならって導入を考えていきたいと思

ます。

問

登録物件が少ないと機能しないと考ええる。また、地域住民の協力も必要だと思うが、考えを伺う。

町長

どうすれば登録してもらえるか前々から考えていました。また、地域おこし協力隊、不動産業者、行政、地域住民の協力により円滑に進んでいくと思います。

学校給食費の無償化について

次世代育成支援計画の中で前向きに検討します

問

子育て支援の一環として学校給食費の無料化を検討するつもりはないか伺う。

町長

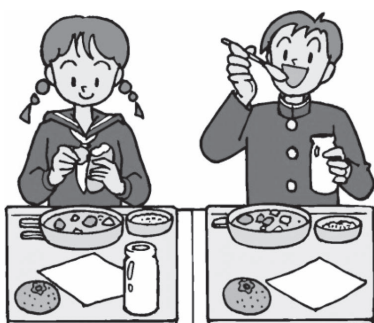
学校給食費は、学校給食法第11条第2項において「保護者の負担とする」と規定されており、この規定に基づき、食材に係る経費として年間四千万円程度が保護者の負担となっており、学校給食費の無料化については、毎年これだけの財源が必要であり、本町においては大きな負担であると考えます。このようなことから次世代育成支援計画の中で考えてまいります。

問

町長の決断しだいではできるのではないかと伺う。

町長

他の自治体では過疎債を使ったり借金にあたるものを使っており、今のところ難しいと考えます。一部補助なら可能と考え



ので、前向きに検討して参りたいと思います。

大雨時の災害対策について

所有者と協議前向きに推進



成政 晃 議員

問

大雨時に町河川上掛川の河川内への倒木等により非常に荒廃した状況にあり、大雨などを踏まえると災害が懸念されるが何う。

町長

上掛川は河川法に基づき町で管理しています。河川法が適用されない普通河川であります。現地調査等行い県営による治山事業の要望や土石流等の災害防止から砂防事業による整備要望も行いましたが、緊急性等優先度が低い為に事業採択まで至っていません。渓流沿いの立木は個人の財産でありますので、所有者と協議を行い、継続的に県への事業要望を行います。

問

過日災害発生時、復旧にかなりの費用と時間を要した。川



町長

幅は8mに広がり、山林の立木が倒木に繋がり、川を堰き止めて氾濫した。流木は所有者の財産だが、自分達で流木を持ち出しが出来ないため対策ができないか何う。

現場を確認し、周辺開発に伴い水量が増した事は理解しますが、高齢者です。流木は個人の財産ですが、高齢者です。所有者と相談し、出来る範囲で地域の方と検討させて頂き、森林組合との共同作業や作業班と具体的な内容は今後の流れで検討します。

防犯対策について

防犯カメラ設置
前向きに

問

犯人逮捕に繋がる防犯カメラの情報が大きく影響する。吉松駅、栗野駅や保育園、幼稚園、小学校、中学校に防犯カメラの設置する考えがないか何う。

町長

栗野駅、吉松駅につきましては、今後多面的な利用や必要性等を警察署と協議、検討致します。

教育長

不審者の声掛け事案が数件発生し、対策として地域住民の協力も得ながら各学校で通学路の安全確認や防犯訓練の実施、安全な環境づくりに取り組んでいます。防犯カメラを設置する事で犯罪抑

問

個人情報問題もあるが、子供達を守る事を優先に考えれば理解頂ける。子供達は私たち町民の宝です。

町長

防犯カメラはベストタイミングで計画して十分に活かして前向きに進めます。

教育長

現在始良地区小学校で防犯カメラを設置している学校はあります。小中学校に用意したいと思っています。





定住促進について

費用対効果の面からも検討

仮屋 良二 議員

問

町外から転入した場合の助成や定住するための助成、また、町内子育て世代が住宅建築・リフォームを行う場合に支援事業を行う考えがないか伺う。

町長

定住助成のための支援につきまして

は、該当要件や適用期間などの課題がありま
す。県内自治体で移住・定住に対する支援を行
っておりませんが、助
成要件等を参考にしな
がら、本町の状況に適
した要件や補助率につ
いての組み合わせ等を
十分、精査して参りた
いと思います。

問

人口減少を食い止めるために、何らかの支援事業を行うことを求められていると思うが、如何か伺う。

町長

定住促進事業は行っているが、このま
まではインパクトが弱
いと思いますので、新
たな事業をできるだけ
早く展開していきたい
と思います。

問

他自治体は、何らかの補助を行って

いる。危機感を感じて
いるので本町も取り組
むべきと思うが如何か
伺う。

町長

他自治体の競争もある
が、費用対効果

果の面から定住促進、
人口増に結びつけるよ
うにしっかりとした施策
を検討したいと思いま
す。

適正な状況で 管理を

管理組合と協議検討

問

墓地は、基本的に管理組合が水道や環

境整備することとなっ
ているが、高齢者や見
守りをするのが少なく
なっていることから、
山間にある墓は、
台風での倒木や竹が墓
の建屋に倒れこみ悲惨
な状況にある。そこで、
町有地であれば整備す
る費用を助成し、適正
な状況で管理するよう
できないか伺う。

町長

「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき、

経営許可を受けている
墓地及び納骨堂は、
182か所あり、それ
ぞれの管理組合で、維
持管理を行なっており
ます。墓地等の管理は、
基本的に管理組合が行
うことになっていま
すが、今後は、状況に
応じて管理組合と協議
検討してまいります。



地方創生について

若い世代の定住対策事業が必要

宗 照夫 議員



問

町総合戦略に基づき取り組みがされているが、少子高齢化の進行、人口減少は止まらない、このような現状を踏まえて、喫緊の課題として、何を優先すべきか伺う。

町長

本町が目指すべき将来の方向性を示す「湧水町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、4つの基本目標に基づいて事業を進めているところであります。人口減少の歯止めをかけるために、重点項目を組み合わせた、特に若い世代の定住対策事業の展開が必要かと考えます。

問

まず総合戦略に基づく施策の検証を進めるべきと考えるが伺う。

町長

検証については、湧水町まち・ひと・しごと創生戦略審査会において、個別の評価を行い、見直しを進めます。

問

次に、企業誘致を優先すべきと考え、積極的なトップセールスなどを、あらゆるところで声を大にして取り組んでほしいが、企業誘致をどのように進めるか伺う。

町長

以前は工業、製造等と考えていたが、今後は、農業分野、学校等、国・県や関東・関西等に出向き、全般的に幅広い企業誘致を進めていきたいと思えます。

行政改革について

住民サービスの低下を招かない組織再編を



メガソーラーパネル設置状況

問

町行政改革推進会議において検討・協議がされてきたが、組織再編が進まなかったことは、大きな一つの課題であると考えて、そこで、町長の考えと、職員の定員管理や計画的な人事異動について、併せて伺う。

町長

新たな行政課題や住民サービスの低下を招かぬよう、効率的に再編することは、私の任期中に成し遂げなければならぬ重要な事項であ

問

専門的な分野において、技術職員が不足していると考え、専門の資格等を持った職員を採用すべきと考えるが伺う。

町長

専門性をを持った職員の配置が今後、非常に重要な案件になると考えます。職員の採用については定員管理等も含めて、十分検討しながら、専門的な職員を配置できるように進めてまいります。

ります。議会及び行政改革推進委員会の意見を頂き、組織再編は進めてまいりたいと思えます。職員の定員管理について、新たな行政ニーズが求められて、現行の職員数を維持し、人事異動は、一人ひとり職務の専門性も考慮しながら行いたいと思います。



人口減少対策について

地域の活性化，社会福祉の充実，就業・雇用の場の創出に向けてプロジェクトチームを結成し，事業を推進してまいりたい

中村 和博 議員

問

十年後のわが町の人口が七千三百五十人程度まで減少すると予測されている人口減少問題に対する基本的な認識を伺う。

町長

人口減少は高校・大学を卒業した学生が県外に就職し地域に残らないことまた自宅から通勤可能な地域に事業所が少ないため子育て世代の転入・留町が少ないこと等が原因と考えます。わが町の人口減少の状況は真摯に取り組まなければならない喫緊の課題と認識しており、地域の活性化、社会福祉の充実等の事業を推進して行きます。

問

人口減少に對する多くの施策を効率的かつ総合的に推進するため町長を的確に補佐する体制を新たに整備する考えはないか伺う。

町長

町長を本部長、副町長と教育長を副本部長、各課長を委員とする湧水町活性化プロジェクトチームの設置を準備しており、必要に応じ部外の有識者の参加を得る計画であります。これにより迅速な意思決定を実現したいと思ひます。



問

人口の流入と定住促進のため、若い世代、特に若い女性に「湧水町に住みたい」と思ってもらえるような、近隣の自治体にはない魅力的なレベルの高い住宅支援策や子育て支援策に盛り込む考えはないか伺う。

町長

住宅支援策については定住促進に繋がるような住宅取得費の援助等を考えています。教育面については充実させた就学援助策を次世代育成支援計画に盛り込むよう検討します。児童生徒の医療費は中学生までの無料化を計画しているが高校生まで無料化できないか検討します。

問

医療・教育費の無料化等の子育て支援の財源として栗野岳メガソーラーの町有地貸付料約五千五百万円を子育て支援基金としてこれに充てる考えはないか伺う。

町長

この町有地貸付料約五千五百万円は貴重な財源であり、子育て支援を含む町の活性化事業等に充つたいと思ひます。今年度は財政調整基金に繰り入れていたが専ら子育て支援策に充当する基金の新設についても検討したいと思ひます。



子育て支援対策について

子育て世帯に切れ目ない支援を行う

植林 伸洋 議員



問

子育て支援など三役の給与カットも含めてどのように進めるのか。又、町長部局と教育委員会が連携して子育て支援を講ずるのか伺う。

町長

乳幼児の医療費・保育料助成などの支援を行います。親が安心して働けるよう教育委員会と連携し学童クラブ等の事業を継続します。

教育長

家庭教育力の向上のため家庭教育学級を開設し子育てや家庭教育を学ぶ場としています。家庭教育支援員の人材活用について検討を進めます。

問

子育て支援は経済的なものだけでなく子育てに不安や悩みが

ある親に対する心のケアも大事と思うが、対策があるか伺う。

町長

子育てに悩んで悲惨な事故に結びつく事もあります。ソフト支援により親の不安や悩みを解決することも再度検討していきます。

問

家庭教育支援員の養成を町民に呼び掛けて、子育て支援を進める計画等があるか伺う。

教育長

経済的なものは町長部局と協議しながら、教育委員会はソフ



ト的な支援を行い、地域ぐるみで子育てを行うことを基本にし、研修会等への呼びかけを広くしていきます。

吉松スマートインターチェンジについて

財源を極力抑えた中で要望活動を実施する

問

吉松スマートインターチェンジの設置には困難があるが、要望活動を実施し設置したい理由を伺う。

町長

栗野とえばの間は距離があり、災害時の対応や通勤などの利便性向上、国の施設も近くにあり、公共性も高いと考えております。

問

設置を希望される方々もいるが、財源などを考え希望しない方々もいる。その声も

無視できないのでは。また、設置には取付け道路の整備を町の財源で行う必要があり、数億円かかると思う。無駄な使い方になると思うが考えを伺う。

町長

反対の意見も改めて感じている。国の機関の補助金があり、町の財源を抑えて設置ができれば、地域の活性化に結びつくのではと考えた次第であります。いろいろな制度上の問題がクリアできれば検討していきたいと考えております。



どうなった!

私の陳情書

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について

陳情者：湧水町稲葉崎 山口武文 氏

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で、子供たちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。そのためには、教職員の長時間労働是正が必要であり、そのための定数改善も欠かせない。また離島・山間部の多い鹿児島県において、子どもの教育の機会均等と学びの保障の観点から、複式学級の解消は、極めて重要な課題である。さらに、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は、2分の1から3分の1に引き下げられたが、国の施策として定数改善に向けた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定の水準の教育を受けられることが憲法の要請である。こうしたことから、政府の予算編成において、下記、3項目にわたる事項の実現に関する意見書を、国の関係機関に提出して頂きたいとするもの。

記

1. 子供たちの教育環境改善、教職員の長時間労働改善のために計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
3. 離島・山間部の多い鹿児島県において、教育の機会均等を保障するため、国の学級編成基準を改めて学校統廃合によらない複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。

採択

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠であるとする陳情の趣旨は理解できる。

※採択により、関係各大臣宛てに意見書を提出しました。

議会の動き

月	期日	曜日	議会の動き
5月	2	火	・議会運営委員会
	9	火	・議員全員協議会 ・第3回議会臨時会
	10	水	・県議長会臨時総会 ・議員研修会
	12	金	・正副議長あいさつ回り
	14	日	・えびの駐屯地創立 36 周年記念行事 ・関西湧水会
	21	日	・吉小運動会
	23	火	・議会運営委員会
	24	水	・九州治水期成同盟連合会定期総会 ※25日まで
	26	金	・議員全員協議会 ・第4回議会臨時会
	28	日	・関東湧水会 ※29日まで
	30	火	・町防災会議
	31	水	・正副議長研修会 ※6月1日まで ・市町村議会議員政策形成支援セミナー

月	期日	曜日	議会の動き
6月	1	木	・ソフトバンク鹿児島湧水ソーラーパーク 運転開始セレモニー
	5	月	・議会運営委員会
	6	火	・議員全員協議会
	7	水	・第2回定例会 本会議
	9	金	・議会運営委員会
	12	月	・議員全員協議会 ・各常任委員会
	13	火	・各常任委員会
	18	日	・中部湧水会
	26	月	・本会議（一般質問）
	27	火	・本会議（一般質問）
	28	水	・議会運営委員会
	29	木	・議員全員協議会
	30	金	・第2回定例会 最終本会議

地域だより

上場地区

上場は湧水町の南部にある地区です。主に豊かな大地と清流を生かした畜産・稲作・甘藷作りが盛んです。

そんな上場地区の取り組みが鹿児島県のホームページに紹介されたのをきっかけに、人口減少、地域活動、学校存続など様々な取り組み先進地選ばれて、日置市の和田地区より先進地視察研修に来て下さいました。

和田地区も高齢化、人口減少、小学校の児童数の減少、小学校存続問題等の諸問題を解決するためには、どのような対策が必要なのかと悩んでおります。また、平成30年度までに小学校存続の有無



を出さなければならず、今後、地区全体で、どのような対策を取れば良いのか協議しているとのこと、上場地区の共生協働の取り組みと地区一体となって取り組んでいる活動を研修される事になりました。

研修では、上場地区の活動内容、小学校と地区の連携、児童数を絶やさないための活動等、一通りの活動内容を研修され、その後、両地区での現状につき、意見交換がなされました。(成政 晃)

幸田地区

まちにまった夏休みです。

幸田小学校では、毎年、8月上旬の週末を利用し、「夏休み短期山村留学」を2日間開校します。ほたる飛び交う清流、幸田川での魚とのふれあいや、棚田百選である幸田の田んぼでの泥んこ遊びなど、都市と田舎の子供たちの元



気いっぱい歓喜あふれる声が、夕焼け空の里山



に響き渡ります。この取り組みは、到来する高齢化社会を見据えて、幸田地区の消滅と幸田小学校の廃校を危惧し、学校存続のため複式学級の解消をはかり、また山河での自然体験をとおして、地区内に移住させる目的で、平成7年度に地区と幸田小学校PTAで立ち上げた活動であり、今日まで継承されています。(小川 忍)

傍聴にお越しく下さい。

次の定例会は9月上旬です。

編集
後記

残暑お見舞い申し上げます。八月も後半に入りまし

たが、毎日うだるような暑さが続いております。皆さまには、熱中症や食中毒などの予防に留意され健康にお過ごしいただきたいと思ひます。四月の選挙で、議会の顔ぶれも半数が新人になり第2回定例会は新町長と新人議員にとって初めての定例会でした。一般質問には多くの方々に傍聴にお越しただきありがとうございました。私も編集委員は、町民の皆さまに親しまれる議会だよりをお届けするために努力してまいります。(植林伸洋)

議会広報編集特別委員会
委員長 植林 伸洋
副委員長 成政 晃
委員 宗 照夫
同 小川 忍
同 山元 明
同 中村 和博
同 飯屋 良二